

市民と新年の幕開けを祝う

「平成31年豊岡市賀詞交換会」を開催

官公庁や多くの企業で仕事始めとなった1月4日、本市は、新しい年の幕開けに際し、市民の皆さんと新年のあいさつを交わす、豊岡市賀詞交換会を本庁舎で開催しました。市内の企業・各種団体や、行政機関の関係者ら約120人が出席した中、中貝市長と関貫市議会議長が年頭のあいさつを行いました。

中貝市長は「コウノトリ育

むお米」が沖繩のスーパーマーケット最大手を通じ販路拡大につながったことを事例に挙げ、地方創生を推進するためには「豊岡ファン」を今後増やすことが重要などといさつ。その後、出席者全員で市歌を斉唱しました。

また、交換会終了後には、本市の発展に寄与した方を表彰する市功労者表彰式を行いました（詳細は21ページ）。



▲最後に参加者全員で万歳三唱

若者の結びつきを強め、ふるさとを活性化

Uターン促進事業「豊岡市25歳同窓会」開催

12月30日、市内の高校などを卒業した若者が集う「25歳同窓会」を開催しました。

国の調査では、新規学卒就職者の3年目までの離職率は3割を超えています。このイベントは、25歳という人生の節目に改めて、「ふるさと豊岡」の良さを再認識してもらうとともに市内外の同級生同士をつなぐを強め、豊岡を離れた若者に将来のUターンを考えてもらうきっかけとし

ています。主催は、豊岡市25歳同窓会実行委員会と本市、但馬県民局。同実行委員会は、昨年7月から準備を行うとともに、市内のさまざまな場所を取材し、SNS（会員交流サイト）で「豊岡の魅力」を発信してきました。

当日は、市内外から115人が参加。歓談やゲームをしながら、同級生との再会や出身校などの枠を超えた新たな出会いを楽しみました。



▲同級生同士で記念撮影

「豊岡就活応援ブック2020」発行

市内の企業情報などを掲載した「豊岡就活応援ブック2020」を発行しました。

この冊子は、市内の企業90社の主要業務や給与実績、福利厚生などを紹介しています。また、今後開催する就活イベントの情報や就職相談でよくある質問「就活Q&A」、本年度Uターン就職して新しい一歩を踏み出した方々のインタビューなども掲載されています。市内の高校を卒業して3年目の大学生や1年目の短大・専門学校生らに配布しました。また市役所の窓口にも設置しています。



(A4判56ページ)

主な市政の動き

12月

- 11日・公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会主催PRアワードグランプリ2018で「飛んでるローカル豊岡編集部」の取組み」ブロンズ受賞
- 20日・新文化会館を考える市民ワークショップ
- 北近畿地域連携シンポジウム「地域とAIについて考える」

- 21日・バス路線等公共交通再編調査(冬期)(23日)
- 25日・「ひょうご県民ユニバーサル施設」に本庁舎と豊岡稽古堂認定

- 28日・市役所仕事納め式
- 年末年始のUターン就職・Uターン転職相談会(1月6日)

1月

- 4日・市役所仕事始め式
- 豊岡市賀詞交換会
- 6日・消防団出初式(豊岡、城崎、竹野、但東)
- 13日・豊岡市成人式

「JAL」新ジャパンプロジェクト」

機内食や機内誌で、豊岡の魅力を紹介

日本航空株（JAL）が、ファーストクラス機内食や機内誌で地域の魅力を紹介する「新ジャパンプロジェクト」で、元日から1カ月間、本市が取り上げられています。

機内食には、但馬牛のすき焼きや豊岡産ほうれん草の小鉢料理などが並び、羽田発着の4路線のファーストクラス

の夕食で提供されています。メニューは3種類で10日ごとに変わり「コウノトリ育

むお米」とともに楽しめます。

機内誌では英語記事「Town

with Seven Hot Springs」に

題して城崎温泉が8ページに

わたり特集され、浴衣を着て

外湯巡りを楽しむ内容や豊岡

靴などが紹介されています。

また、日本語版の特集では、

出石皿そばが取り上げられて

います。

今後もJALと本市は協働

し、豊岡の魅力を国内外

に発信します。

「音楽でつながる、豊岡の魅力と未来」 移住定住促進プロモーション「ミュージシャン・イン・レジデンス 豊岡」開始

近年、人口減少が進む一方

で、若者を中心に都市から地

方への移住の潮流が高まって

いるといわれています。本市

は、日本で最もポピュラーな

文化である「音楽」を通じて、

豊岡への移住を促す「ミュー

ジシャン・イン・レジデンス

豊岡」を開始しました。ミュー

ジシャンが豊岡に滞在し、豊

岡での体験をもとに音楽を創

作し、音楽を通じて、豊岡の

魅力」を発信します。

この取組みに共感し、昨年

の秋滞在したのが蔡忠浩さん

(Bonobos)です。過去に本市

のプロモーションムービーで

ナレーションを担当し、プ

ラベートでも本市を訪れてい

ます。制作した楽曲は1月17

日、東京FMラジオで発表さ

れ、今後、滞在中の映像など

をウェブサイトで発信しま



▲1カ月間提供されるファーストクラスの機内食



▲出石永楽館に立ち寄る蔡さん
曲名：アルペジオ
ウェブサイト：MUSICIAN IN RESIDENCE Toyooka
(<http://musicianinresidence.com/>)

中東市長の徒然日記 (35)

ミュージシャン・イン・東京

昨年12月のある日、議会から市長室に戻ってくると、大きな封筒が届いていました。

但東中学校2年生全員からの招待状でした。「ぼくたちのMission In Tokyo」をぜひ見

てください」

疲れがいつべんに吹き飛びました。

今年5月22日。生徒たちは、東京への修学旅行の際に、豊岡市アンテナショップのある

有楽町・東京交通会館の前で豊岡のPR活動を行います。

物販も行います。名付けて、「但東中アンテナショップ」

2年生で故郷のことを学び、3年生の修学旅行先で発表する取組みは、今年で4回目になります。

第1回目ときは、ぼくも見にいきました。東京の真ん中で、生徒たちは、道を行く見ず知らずの人々に堂々とした態度で大きな声をかけて

いました。「私たちは、豊岡市から来ました！」

試食の但東産きなこと飴やお

かきを差し出し、巧みにお店に誘導する生徒もいました。

胸が熱くなりました。

急いで生徒たちに返事を書きました。

「皆さんが故郷のことを一生懸命学び、その成果を東京で発表されることは、とても素晴らしいことです。初めての土地、大都会の真ん中で道を行き交う人々に声をかけ、豊岡のことを話すのは、勇気がいるかもしれせん。しかし、故郷のこと、但東のことは、知れば知るほど好きになります。好きなもののために行動しようとするとき、勇気が湧いてくるはずです・・・

声を張り上げて、行き交う人々に豊岡を売り込むとき、皆さんはふるさとのために、ふるさとを売り込むという大切な役割を果たすことになります。皆さんが豊岡の大切な一員であること、但東の大切な一員であることを前提に、大人たちは皆さんにこのMissionを与えました。皆さんの挑戦に、心からのエールを送ります」

市長はきつと応援に行くよ。

2~3 広告募集

4~5 市政ニュース

6~19 クローズアップ
豊岡

20~25 ぐらしの情報

26~27 保健行事

28~29 図書館・つどいの広場

30~31 主な相談・主な行事